

# 広島市食検だより

2019年 1月 第52号



## これ何だ？ おなかの中から大きな石!?



今回は、「食検だより第50号」の記事で、所内見学に来られた中学・高校の理科の先生方が熱心に観察されていた、この丸い石について、詳しくご紹介します。



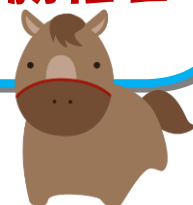
大きい方の石は直径 17 cm 2.4kg、小さい方の石は 13 cm 1.4kg で、ずっしりとした重さがあります。手に持つとこれくらいの大きさです。



この石の正体は…

**馬の盲腸結石**

です!!



### 「結石」って何？

内臓の中で分泌液の成分が石のように固まったものを結石と呼びます。胆のう、腎臓、尿管、膀胱など体の様々な場所で形成され、激しい痛みを伴う場合もあります。

### 馬の腸結石について

腸結石は腸管内に形成される結石のことです。馬の大結腸や盲腸は太くなったり細くなったりして、管の太さが部位によって著しくことなるとともに、非常に長いため、結石ができやすい傾向にあります。※①

老齢馬に形成されることが多く、そのほとんどが『リン酸アンモニウムマグネシウム』という成分で、マグネシウムを多く含む牧草が主な原因と言われています。※②  
小さな結石であれば、便とともに体外へ排泄されることもありますが、大きい結石は腹痛を引き起こしたり、最悪の場合は、結石により腸管が閉塞して死に至ることもあります。

今回ご紹介した結石は約 40 年前のと畜検査で、それぞれ違う馬の盲腸内から発見された石だそうです。ここまで大きい物はとても珍しく、貴重な検体として検査所で大事に保管されています。